

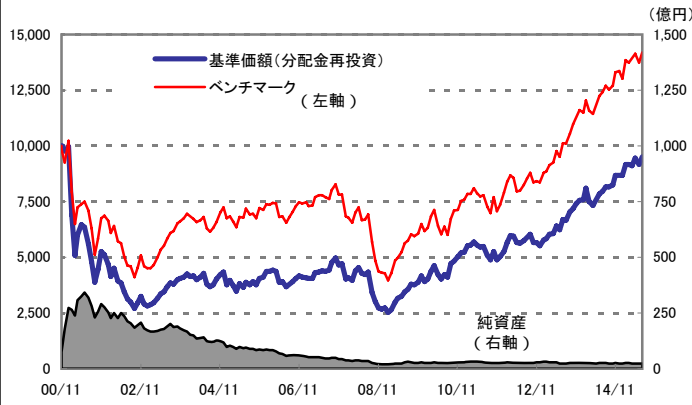


運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 9,509 円

※分配金控除後

純資産総額 24.1億円

騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1か月	3.6%	3.4%
3か月	4.4%	2.0%
6か月	9.5%	9.1%
1年	19.3%	14.3%
3年	65.7%	72.1%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 -4.9% 42.1%

- 信託設定日 2000年11月29日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則5月、11月の各28日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2015年5月	0 円
2014年11月	0 円
2014年5月	0 円
2013年11月	0 円
2013年5月	0 円

設定来累計 0 円

設定来=2000年11月29日以降

ベンチマークであるNasdaq総合指数(円ヘッジベース)は、設定日前日を10,000として指数化しております。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2015年7月31日 現在

資産別配分

資産	純資産比
株式	95.6%
株式先物	-
株式計	95.6%
その他の資産	4.4%
合計(※)	100.0%

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。

実質外貨比率 2.3%

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

業種別配分

業種	純資産比
バイオテクノロジー	16.9%
コンピュータ・周辺機器	13.2%
ソフトウェア	8.6%
インターネット販売・カタログ販売	7.4%
インターネットソフトウェア・サービス	7.3%
その他の業種	42.2%
その他の資産	4.4%
合計	100.0%

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2015年7月31日 現在

銘柄	業種	純資産比
APPLE INC	コンピュータ・周辺機器	13.2%
AMAZON.COM INC	インターネット販売・カタログ販売	3.9%
GOOGLE INC-CL A	インターネットソフトウェア・サービス	3.2%
GILEAD SCIENCES INC	バイオテクノロジー	2.1%
REGENERON PHARMACEUTICALS	バイオテクノロジー	2.0%
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	バイオテクノロジー	1.7%
FACEBOOK INC-A	インターネットソフトウェア・サービス	1.7%
FORTINET INC	ソフトウェア	1.7%
MICROSOFT CORP	ソフトウェア	1.7%
CELGENE CORP	バイオテクノロジー	1.6%
合計		32.9%

組入銘柄数 : 78 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員

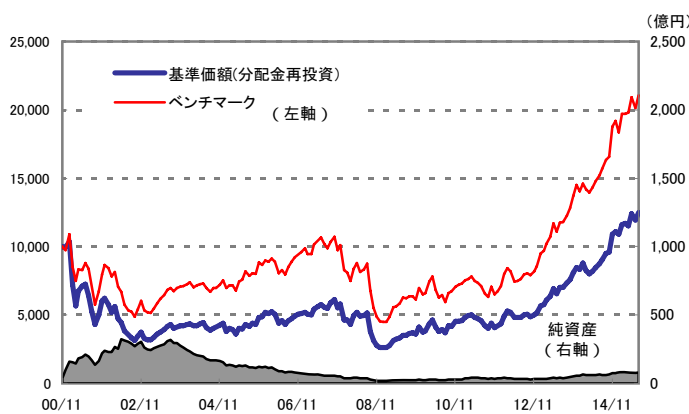


運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 12,251 円

※分配金控除後
純資産総額 79.1億円

騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	4.9%	4.8%
3ヵ月	8.8%	6.4%
6ヵ月	14.9%	14.9%
1年	43.2%	38.6%
3年	159.0%	176.3%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 25.2% 110.9%

- 信託設定日 2000年11月29日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則5月,11月の各28日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2015年5月	150 円
2014年11月	100 円
2014年5月	0 円
2013年11月	0 円
2013年5月	0 円

設定来累計 250 円

設定来=2000年11月29日以降

ベンチマークであるNasdaq総合指数(円換算ベース)は、設定日前日を10,000として指数化しております。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2015年7月31日 現在

資産別配分

資産	純資産比
株式	95.7%
株式先物	-
株式計	95.7%
その他の資産	4.3%
合計(※)	100.0%

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しておりません。

実質外貨比率 98.5%

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

業種別配分

業種	純資産比
バイオテクノロジー	16.9%
コンピュータ・周辺機器	13.2%
ソフトウェア	8.6%
インターネット販売・カタログ販売	7.4%
インターネットソフトウェア・サービス	7.3%
その他の業種	42.2%
その他の資産	4.3%
合計	100.0%

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2015年7月31日 現在

銘柄	業種	純資産比
APPLE INC	コンピュータ・周辺機器	13.2%
AMAZON.COM INC	インターネット販売・カタログ販売	3.9%
GOOGLE INC-CL A	インターネットソフトウェア・サービス	3.2%
GILEAD SCIENCES INC	バイオテクノロジー	2.1%
REGENERON PHARMACEUTICALS	バイオテクノロジー	2.0%
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	バイオテクノロジー	1.7%
FACEBOOK INC-A	インターネットソフトウェア・サービス	1.7%
FORTINET INC	ソフトウェア	1.7%
MICROSOFT CORP	ソフトウェア	1.7%
CELGENE CORP	バイオテクノロジー	1.6%
合計		32.9%

組入銘柄数 : 78 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



ファンドの特色

- 信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いません。
- 米国のNasdaq上場株式を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「米国NASDAQオープンマザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 株式への投資にあたっては、成長性、収益性、安定性等を総合的に勘案して選択した銘柄に投資することを基本とします。
- 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資対象市場が休場等の場合は組入比率を一時的に引き下げる場合があります。
- 「Aコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」は原則として為替ヘッジを行いません。
- ファンドは、以下をベンチマークとします。

Aコース	Nasdaq総合指数(円ヘッジベース) ^{※1}
Bコース	Nasdaq総合指数(円換算ベース) ^{※2}

※1「Nasdaq総合指数(円ヘッジベース)」は、Nasdaq Composite Index*(USDルベース)をもとに、委託会社が独自にヘッジコストを考慮して円換算した指数です。
 ※2「Nasdaq総合指数(円換算ベース)」は、Nasdaq Composite Index*(USDルベース)をもとに、委託会社が独自に円換算した指数です。

* Nasdaq Composite Indexは、米国のNasdaq市場で取引されている全ての株式を対象とした時価総額加重方式の株価指数です。

- ファンドは「米国NASDAQオープンマザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、ノムラ・アセット・マネジメントU.S.A.インクに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
◆運用にあたって、ノムラ・アセット・マネジメントU.S.A.インクは、委託会社より、情報の提供およびアドバイスを受けます。
- 原則、毎年5月および11月の28日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。
*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。 ※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(平成12年11月29日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則、5月および11月の28日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万円以上1万円単位(当初元本10=1円) または1万円以上1円単位
自動引けぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.6632%(税抜年1.54%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入資産等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万円につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期末決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

Nasdaq Composite®およびNasdaq®は、The Nasdaq Stock Market, Inc.(以下、その関係会社とともに「ナスダック」といいます。)の登録商標またはサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社は、その使用を許諾されています。ナスダックはファンドの合法性および適格性について保証するものではありません。ファンドは、ナスダックによって設定、承認、販売または販売が促進されるものではありません。ナスダックは、ファンドに関して担保責任を負わず、いかなる責任も負担しません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社
 ★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)
 <受付時間> 営業日の午前9時~午後5時
 ★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> **野村アセットマネジメント株式会社**
 [ファンドの運用の指図を行なう者]
 <受託会社> **三井住友信託銀行株式会社**
 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員
 一般社団法人日本投資顧問業協会会員



先月の投資環境

- 先月のナスダック総合指数は、月間で3.43%の上昇となりました。米国株式市場は上旬、ギリシャ国民投票で緊縮財政への反対が多数となり、先行き不透明感から一時下落しましたが、ギリシャ政府が財政改革等に取り組む姿勢に転じ、持ち直しました。さらに中旬には、ギリシャがEU(欧州連合)と金融支援の再開で基本合意に達したことなどから堅調な推移となりました。下旬に入ると、一部米国企業の低調な4-6月期決算などを背景に下落基調となりましたが、月末にかけてはFOMC(米連邦公開市場委員会)声明で慎重な利上げ姿勢などが示されたことなどから再び上昇し、月間で上昇となりました。
- 業種別では、保険、バイオテクノロジーが月間騰落率で上位となった一方、銀行、通信が下位となりました。
- 為替市場では、ドル・円レートは上旬、ギリシャ情勢などが先行き不透明感を増したことなどをを受け、市場のリスク回避姿勢が強まり、一時下落(円高)しましたが、中旬以降ギリシャ懸念が後退し、市場心理が回復に向かう中、上昇(円安)傾向となりました。月末のドル・円レートは124円04銭と、月間では1円59銭のドル高・円安となりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

- 月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は、Aコースが+3.61%、Bコースが+4.92%となり、Aコースはベンチマークを0.23ポイント、Bコースは0.14ポイントそれぞれ上回りました。ベンチマーク対比では、一般消費財・サービスセクターでの銘柄選択などがプラスに貢献しました。
- 業種別配分ではヘルスケアなどをオーバーウェイト(ベンチマークに比べ高めの投資比率)とし、生活必需品などをアンダーウェイト(ベンチマークに比べ低めの投資比率)としました。
- 月間の主な売買としては、長期の業績成長力と比べ株価バリュエーション(投資価値評価)が割安と判断したヘルスケアサービス株やソフトウェア株の組み入れを行ないました。一方、高い成長力がひとまず株価バリュエーションに織り込まれたと判断した複数の半導体・半導体製造装置株を売却しました。

今後の運用方針(2015年8月5日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

- 米国経済は、実質GDP(国内総生産)成長率が1-3月期の前期比年率+0.6%(改定値)から4-6月期には同+2.3%(速報値)へと再び伸び率を高めるなど、良好な雇用・所得環境に支えられた個人消費を中心に回復軌道に戻っています。労働市場の改善が続く中、FRB(米連邦準備制度理事会)は年内にも政策金利を引き上げ、金融政策の正常化に向けて動き始めると予想され、引き続き今後発表される経済統計などが注目されます。
- このような環境のもと、当ファンドの運用としては、為替市場での米ドル高の恩恵を受け、かつ緩やかな成長局面でも着実に収益をあげる力を持つ企業を中心に銘柄選択を行なっていく考えです。
- 業種別配分では、ヘルスケア、一般消費財・サービスなどのオーバーウェイト、業績モメンタムの弱い生活必需品などのアンダーウェイトを維持する方針です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員